

令和7年度とうきょうすくわくプログラム 活動報告



テーマ「かいこ」

蚕の飼育・桑の木を植えて蚕の餌を育てる。
成長の観察（全園児）
蚕を通して様々な素材を知る（5歳児・らいおん組）

テーマの設定理由

- ・毎年園で飼育をしている蚕をテーマに昨年度からすくわく活動をしているため、子どもたちの興味関心が高いと感じる。今年度はさらに内容を充実させた活動を展開したい。
- ・少人数ずつの活動により、子どもたちの気づきや言葉・感じていることを共有する。

【活動期間】 令和7年7月～令和8年1月

- 【活動内容】
- ①蚕の飼育
 - ②桑の植樹・栽培
 - ③他の素材へも興味を広げた観察や織物づくり



【準備したもの】 ・蚕 ・蚕のエサ ・桑の木 ・ルーペ ・デジタルスケール ・デジタル顕微鏡 ・ipad
・パソコン ・布（絹、綿、麻） ・糸（絹、毛糸、綿、麻、刺繍糸、レース） ・手織り機 など

【活動中の子どもたちの様子】

①蚕の飼育

えさ(人工飼料) と桑の葉
両方を使って飼育しています。



(そっと触って) 「ぷにぷに！」 「さらさらしてる」
「冷たくて気持ちいい」

【振り返り】

かいこのエサ=桑の葉 の認識で進めてしまいましたが、
子どもたちは「これも食べるかな？」と手に取っていた姿があり、
子どもたちの柔軟な考え方に気づきました。



「今日も大きくなって！」 「きみどりのはっぱはやわらかいよ」
「かいこのエサとはっぱどっちが好きなの？」

5歳児が0歳児に説明しています。



「ほら、これがかいこだよ。
こうやってやさしく触るんだよ」



②桑の植樹・栽培 葉摘み

環境設定として園庭を整備し、乳幼児でも桑の葉を取りやすい場所に桑を植樹しました。



5歳児が主となって桑の木を栽培

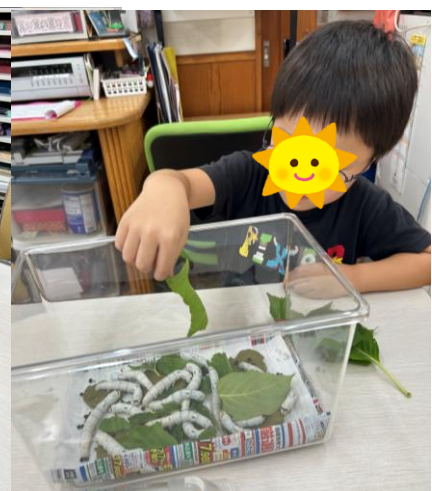


「こっちのはっぱも食べるかな？」



【振り返り】

桑の木が身近になったことで、かいこへの興味・関心もさらに強くなり、エサやりや観察が盛んになりました。桑の木のみでなく、他の植物等、自然物への興味も広がりました。



③他の素材へも興味を広げた観察や織物づくり



デジタルスケールを使って
かいこの重さをはかっています。

「このあいだより
重くなってるよ！」



「こういうふうに
まゆになるんだね」



かいこの飼育ケースや成長記録を玄関に展示して、子ども・保護者・保育士の3者で活動を共有することができました。

デジタル顕微鏡の使い方をマスターし、かいこを観察しています。細かいところまでじっくり観ることができます。



「口のうごきがよく見える！」

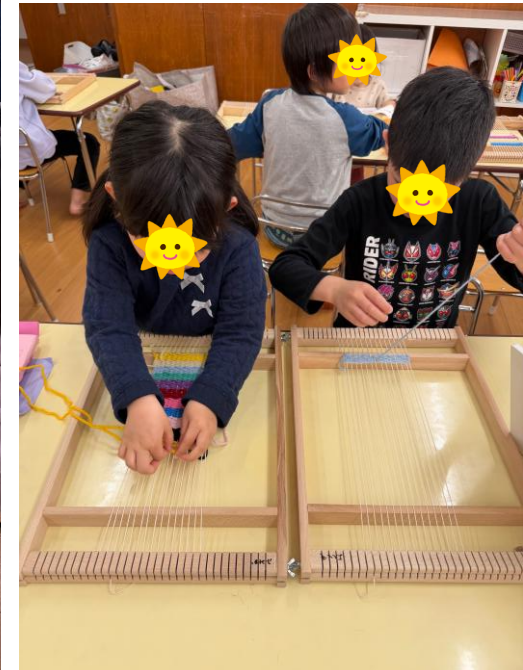
「ふわふわな糸がいっぱい」

【振り返り】

デジタル顕微鏡の使用により、肉眼では見られなかったかいこの体の構造や繭の一本一本の糸の観察ができました。また、玄関に展示したことにより、保護者と子ども・保育士の会話のきっかけにもなりました。



「(素材によって)
ぜんぜん
違う!」
「これで
セーター
とか
できそう」



③織り物づくり

織り機を使って機織りに挑戦しました。
コースターやポシェットが完成しました。



【振り返り】

かいこから取れた糸の観察。
そこから「糸」や「布」は他にも
色々な素材でできているもの
があることを知りました。
「ザラザラしてる」「ツルツル
だ」等、手触りの感触の違い
に気づきました。
織り機を使って自分で作り上
げることの喜びを味わうこと
ができました。